

重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目									
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。											
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進 (Global Warming)											
	■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 ④耐久性の高い材料を使用している。	Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能				
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	屋光利用設備				
				3.2	3.2.2	③	屋光制御				
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔				
					2.2.2	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔				
					2.2.3	④	配管・配線材の更新必要間隔				
					2.2.4	④	主要設備機器の更新必要間隔				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし	Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出				
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上				
	■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特になし	LR-1	1			⑦	建物の熱負荷抑制				
			2	2.1		⑧	自然エネルギー直接利用				
				2.2		⑧	自然エネルギー変換利用				
			3			⑨	設備システムの高効率化				
			4	4.1		⑩	モニタリング				
				4.2		⑩	運用管理体制				
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) ⑫電炉材等の再生材を使用している。	LR-2	1	1.1		⑪	節水				
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム				
					1.2.2	⑪	雑排水利用システム				
			2	2.1	2.1.1	⑫	躯体材料の再利用効率				
					2.1.2	⑫	非構造材料の再利用効率				
				2.2		⑫	持続可能な森林から産出された木材				
				2.3		⑫	有害物質を含まない材料				
				2.4		⑫	既存建築躯体などの再利用				
				2.5		⑫	部材の再利用可能性				
				2.6	2.6.1	⑫	消火剤				
					2.6.2	⑫	断熱材				
					2.6.3	⑫	冷媒				
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善				
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)											
	■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性) ⑭地域係数Z=1.2、用途係数=1.25	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭	耐震性				
					2.1.2	⑭	免震・制振性能				
				2.4	2.4.1	⑮	空調・換気設備				
					2.4.2	⑮	給排水・衛生設備				
					2.4.3	⑮	電気設備				
					2.4.4	⑮	機械・配管支持方法				
					2.4.5	⑮	通信・情報設備				
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)											
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑱空間にゆとりを持たせている。	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画				
			3	3.1	3.1.1	⑱	階高のゆとり				
					3.1.2	⑱	空間の形状・自由さ				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) 特になし	Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上				
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)											
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) 特になし	Q-3	1			⑳	生物環境保全と創出				
			2			㉑	まちなみ景観への配慮				
			3	3.2		㉒	敷地内温熱環境の向上				
	■敷地外環境対策 (㉓温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3	5			㉓	温熱環境悪化の改善				